ふくちやまし

平成23年11月15日発行　No.87

議会だより

2011 11

発行／福知山市議会
編集／福知山市議会だより編集委員会

秋祭り、いい笑顔！（庵我地区）

議会だより表紙の写真を募集します。
詳しくは、19頁をご覧ください。

主な内容

9月定例市議会の概要　一般会計補正予算総額2億8820万円……2〜3
一般質問　議員20人が登壇……4〜14
新企画　議案・請願の賛否状況……15
常任委員会の審査報告……16〜17
決議・請願の状況……18
議会だより編集委員会からのお知らせ（紙面リニューアルなど）……19
新企画　「元気やで福知山！」成美大学硬式野球部にインタビュー……20

今回号から、議員の議案賛否の掲載や新企画「元気やで福知山！（議員訪問インタビュー）」などを掲載し、紙面のリニューアルを行っています。

※議員訪問インタビューの取材先募集！（詳細は19頁に）

総額2億8820万円追加!

『「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の促進を求める決議』が可決!

(関連記事はP18)

概　要

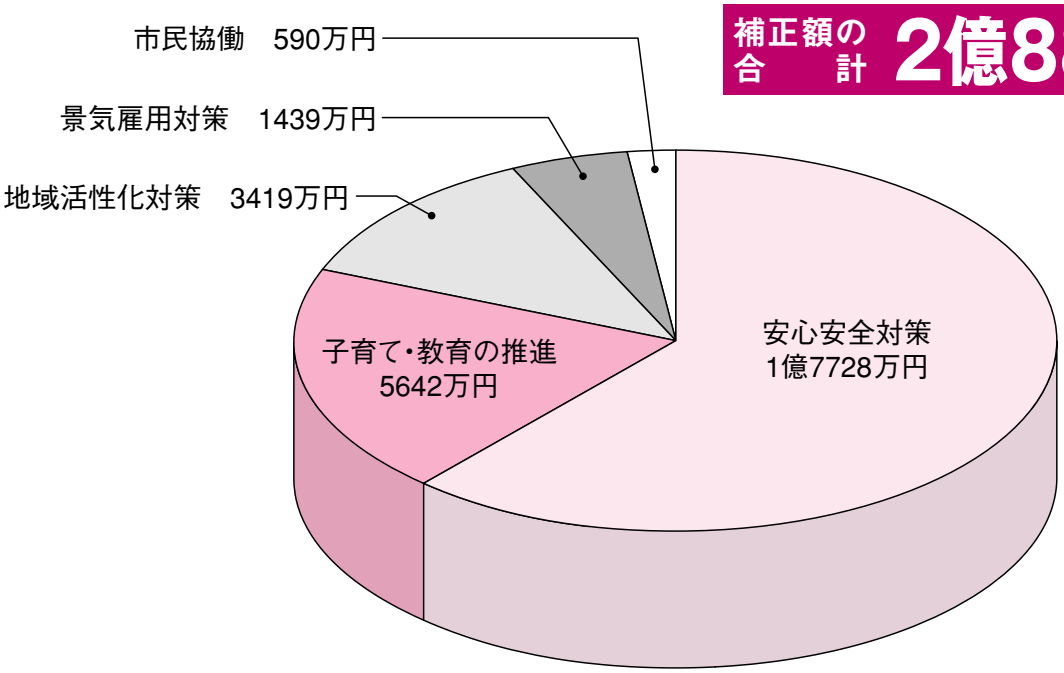
9月定例会は9月7日から9月29日までの23日間にわたって開催されました。この議会には、平成23年度一般会計と国民健康保険事業など3特別会計の補正予算のほか、条例の一部改正など36議案が上程されました。その内、平成22年度一般会計歳入歳出決算や企業会計決算などの21議案については、決算審査特別委員会を設置して継続審査としました。

残りの15議案は、22日開催された各常任委員会で審査したのち、最終日の29日の本会議で、いずれも原案のとおり可決しました。また、議員提案により『「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の凍結解除と建設促進を求める決議』が可決されたほか、市民から出されていた請願1件を採択、請願2件を不採択としました。一般質問は、15、16、20日の3日間で行われ、20人の議員が質問に立ち、市政を質(ただ)しました。

9月定例市議会　一般会計補正予算の内訳

※このグラフは項目ごとに万円どめにしています。

補正額の合計　2億8820万円



※補正後の平成23年度一般会計予算総額は400億9971万円に。

特別会計補正予算

●国民健康保険事業	1億8339万円(基金積立金他)
●介護保険事業(保険事業勘定)	6011万円(介護給付費準備基金積立他)
●介護保険事業(介護サービス事業勘定)	551万円(介護サービス事業基金積立)
●後期高齢者医療事業	405万円(健康診査受診者の増加)

9月定例市議会

一般会計補正予算

6月議会から一転、凍結解除と建設

一般会計補正予算のつかいみち

『～安心安全対策～』
5月の豪雨により被災した公共施設の災害復旧他
- 災害時資機材整備　70万円
- 橋りょう維持管理　600万円
- 消防団員公務災害補償経費　4924万円
- 災害復旧（農地・農業用施設、林道施設、道路・河川、市営住宅）　8661万円
- 介護基盤緊急整備特別対策　3240万円
- 後期高齢者医療事業特別会計繰出金　231万円

『～地域活性化対策～』
台風2号の被害を受けた茶園を支援他
- 平成の城下町福知山賑わいづくり事業　20万円
- 特産品活用による三和地域活性化　60万円
- 地域公共交通調査　777万円
- 農山漁村活性化プロジェクト支援　783万円
- 農地・水・環境保全向上対策　480万円
- 茶業振興対策　575万円
- 茶緊急樹勢回復助成　219万円
- 農業経営緊急回復支援　505万円

『～子育て・教育の推進～』
（仮称）夜久野学園の平成25年4月開校に向けて実施設計へ
- （仮称）夜久野学園整備　1000万円
- 子育て支援特別対策　1459万円
- 日本脳炎予防接種　2961万円
- スクールサポーター配置　121万円
- 子ども手当支給事務　100万円

『～市民協働～』
東日本大震災被災地へのボランティア派遣への支援他
- 災害ボランティア支援　40万円
- コミュニティ助成　250万円
- 第4次総合計画後期計画策定　300万円

『～景気雇用対策～』
失業者に対して雇用・就業機会を創出、提供
- 道路維持管理パトロールモデル事業（緊急雇用）　592万円
- 学校図書館機能充実事業（緊急雇用）　847万円

12月定例市議会の予定（25日間）

12月2日（金）　招集予定、本会議（決算議案採決、提案理由説明）
12日（月）　本会議（質疑、一般質問）
13日（火）　本会議（一般質問）
14日（水）　本会議（一般質問）
15日（木）　各常任委員会
16日（金）　各常任委員会
22日（木）　本会議（採決）
26日（月）　会期

※この議会予定は、今後変更する場合があります。また、このほかに、全議員協議会、各常任委員協議会等の会議が随時開催されます。

12月定例会本会議を傍聴（ぼうちょう）してみませんか

本会議の傍聴は、市役所本庁舎6階の傍聴受付で「傍聴者名簿」に氏名・住所等を記載し、傍聴規則を守って、傍聴席（定員60名）において傍聴できます。なお、団体で傍聴を希望される場合は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

日程や時間は変更することがありますので市議会事務局に問い合わせください。

市議会事務局　☎0773－24－7031

◆条例が改正されました。

- **福知山市税条例等**（地方税法等の一部改正による）
  市税に関する申告を怠った場合における過料を「3万円」から「10万円」に引き上げ、たばこ税についても同様とする。また、寄付金税額控除の適用下限額を「5,000円」から「2,000円」に引き下げるなど。
- **福知山市都市計画税条例**（地方税法等の一部改正による）
  地方税法等の一部改正に伴う文言整理
- **福知山市公設地方卸売市場条例**
  平成24年4月から市場の管理を、法人その他の団体であって市長が指定するもの「指定管理者」に行わせることができる。また、市場の開場時間を午前5時から午後6時30分までに変更すること、市場関係者から暴力団員等を排除する規定を設ける。
  ※「指定管理者」とは、地方公共団体が、公の施設の管理を行わせるために、期間を定めて指定する団体のこと。
- **福知山市立公民館条例等**
  合併協定の経過措置に基づき、旧3町の13地域公民館が地区公民館に移行することに伴い、旧町各1地域公民館に整理される。この改正により、平成24年4月から市立公民館の数は22館から9館（中央公民館、地域公民館8館）となる。

9月定例市議会

ここが聞きたい！

一般質問

20議員が質問に登壇！

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

●質問議員●

1．芦田　眞弘（福政会）
2．藤田　　守（平成会）
3．大槻富美子（日本共産党市会議員団）
4．田中　法男（福知山未来の会）
5．稲垣　司郎（政和会）
6．足立　伸一（公明党市会議員団）
7．髙橋　正樹（市民と改革の会）
8．塩見卯太郎（日本共産党市会議員団）
9．中島　英俊（日本共産党市会議員団）
10．田渕　裕二（福知山未来の会）
11．稲葉　民俊（福政会）
12．大谷　洋介（公明党市会議員団）
13．足立　　進（日本共産党市会議員団）
14．桐村　一彦（無会派）
15．吉見　純男（日本共産党市会議員団）
16．吉見　茂久（公明党市会議員団）
17．塩見日出勝（無会派）
18．荒川　浩司（市民と改革の会）
19．谷口　　守（平成会）
20．高宮　辰郎（平成会）

※所属会派は9月末現在

〔注記〕記事中の「市民交流プラザ」は「（仮称）市民交流プラザふくちやま」を略して表記しています。

福政会
芦田　眞弘 議員

図書館事業の充実を

問 市立図書館における市民一人当たりの図書購入費および貸出冊数の水準が府内の市の中で一番低いが。

答 システム統合やインターネットを利用したサービス提供などの環境整備が整ったので、さらに多くの方に利用していただけるよう広報活動に努力する。

問 本の動きが活発化することによる課題は。

答 中央館の職員が週に2、3回、各館に運搬しているが対応しきれていない。

問 サービスの向上に伴いスピードが求められる。委託や運送業者による運搬などを検討すべきと考えるが。

答 効率的な図書の物流システムが必要であり、利用者の求めに迅速に応じていくためにも、その方法について検討をしていきたい。

問 学校間で連携できるよう学校図書館を電算化し、ネットワーク化する必要があるのではないか。

答 今後の課題として、図書の有効利用の観点から学校間、市立図書館を含めてのネットワーク化について検討していきたい。

学校プール、地域プールの違いは

問 異なる基準で管理することによる格差はないのか。

答 どちらも教育総務課で一括管理しており、施設の維持管理や修繕に関しての違いはない。

問 大阪府泉南市の小学校プールでの事故を受けて市教育委員会の対応は。

答 各学校に対して安全管理の徹底に関する通知を行った。

問 プール運営委員会への連携はされたのか。

答 安心安全なプール運営ができるよう学校を通じてお願いをした。

（図書館・教育総務課・学校教育課）

西中筋プール（地域プール）

「お茶の振興に関する法律の制定」を受けて

問 本年4月に「お茶の振興に関する法律」が制定されたが、本市が果たすべき役割と支援策は。

答 現在、国で基本方針を策定中である。その後における京都府の振興計画に基づき、関係機関やお茶の生産農家とも連携し、施策の検討をしていきたい。

（農業振興課）

平成会
藤田　守 議員

松山市政の評価と今後の課題を問う

問 マニフェストの検証は、事業着手の到達度ではなく効果などの評価が重要では。また、市民交流プラザの建設は、広く市民に十分理解されないまま議論されているのでは。

答 全ての項目の進捗状況を示すには、事業に着手したかどうかが市民に分かりやすいと判断した。皆様から頂いたご意見などを真摯に受け止め、市民満足度の向上に努めたい。

また、市民交流プラザは、広報ふくちやま、ホームページなどでその都度広報に努めたが不十分であったかもしれない。財政シミュレーションのなかで理解を求め、市民の立場に立った分かりやすい情報発信に努めたい。

（市長公室）

太陽光発電の事業化とモデル化を！

問 脱原発についての見解は。そして、休耕田、公共施設を利用し、太陽光発電の事業化を。また、市の補助額1万5000円／kwは、他市と比較すると少ない。

答 安定供給できる代替の発電手段の見通しを見極めるなかで、脱原発に向けて取り組む必要がある。また、自然エネルギーは地域固有の資源。どう活用し、何が持続可能か見極める。

（環境政策室）

耕作放棄地が増加。有害鳥獣の駆除が遅い！

問 耕作放棄などで非農地化の増加が大きな問題。また、有害鳥獣捕獲実施隊の発足が遅れた。農家の不安が軽減される対策を。

答 地域営農の推進と担い手の育成事業を計画的に進めている。また、実施隊の発足が遅れたことは、お詫びしたい。その間、駆除隊による月2回の活動や、わな、捕獲おりで駆除している。

（農業振興課・林業振興課）

風通しの良い市役所づくりを！

問 職員の地区担当制の成果は。

答 昨年は474件の相談、照会があり、職員の回答などで問題解決、課題の提起が速やかに行われたことは一定の成果があった。市民に役立つ市役所づくりに努めたい

（総務課）

府・市へ中六人部地区要望書の提出

日本共産党市会議員団
大槻富美子 議員

脱原発に舵をきれ

問 福知山市は若狭湾原発から30㎞の地域を抱える。しかも、活断層の真近に原発は位置し、老朽化も進んでいる。人類は核廃棄物の処理能力を有していない。原発の危険を認識し、脱原発に舵を切る時ではないか。福島原発事故の教訓をしっかり取り入れ、市民を守る防災計画を急ぐべきでは。

答 電力を安定供給するための代替発電手段の見通しを見極めて、脱原発に向けて取り組む必要がある。20㎞圏の隣接自治体の避難者の受け入れ体制、放射線の監視体制の強化などを検討している。今後、国・府と連携し防災計画を見直す。

（総務課）

治水対策、地元要望が通る余地はあるのか

問 大江町二箇上、二箇下、高津江地区は、輪中堤対策を要望している。地元要望が通る余地は残されているのか。二箇上地区は意見交換会の実施をずっと待っておられる。どうなっているのか。

堤防には1・5mの余裕高があるが嵩上げ工法には余裕高はない。しかも、現在では工事着手の見通しがたっていない河道掘削分が嵩上げ高をおさえる結果となる。不公平ではないか。また、治水対策がまだ無計画の地域の進捗状況は。

答 地域の要望が強ければ通る余地もあり得る。市として地元合意に基づく話し合いを重ねるよう国交省に要望している。二箇上地区との意見交換会は9月中に開催するよう要望している。

堤防は構造上1・5mの余裕高が必要であり、宅地嵩上げに対し公平性を欠くものではない。

治水対策が無計画の地域については原案作成が進められている段階だ。

（都市整備課）

今年の台風15号による冠水状況（大江町二箇下）

乳児健診を旧町保健センターでも実施を

問 赤ちゃんを連れて長時間の健診は大変だ。中央だけではなく旧町のセンターでも実施し利便性をはかれないか。

答 保護者負担を軽くするよう来所時間、駐車スペース、保育スタッフ配置など工夫している。医師との関係もあり困難だ。

（健康推進室）

福知山未来の会
田中　法男 議員

平成22年度決算の評価と今後の財政運営

問 決算の評価と持続可能な財政運営は。

答 すべての財務指標で改善となり、一定の財政健全化が図られた。今後も集中改革プランを実行し、来年度からの第5次行政改革で取り組む。

問 新たな財政需要がある中で、大型事業が財政悪化を招かないか。

答 合併特例期間を活用し、恵まれた財源を有効活用したい。また今後の見通しをたて、中期財政見通しを作成して、決算委員会の前にお示しする。（財政課）

市民交流プラザの凍結による影響

問 基本計画が中止となった場合の影響は。

答 市民交流プラザ・市民会館・中央保健福祉センターの整備改修の再検討のため、子育て支援・障がい者支援・男女共同参画などの行政課題の解決に遅れがでる。

問 代案が出された場合は検討するべきと思うが。

答 交流プラザ基本計画と同等以上のものなら検討するべきだと考える。（市長公室）

由良川中流部の河川整備計画と進捗状況

問 中流部の雀部・遷喬・佐賀地区の改修計画は。

答 上流側から連続堤防の整備が進められている。

問 中流部の築堤整備の進捗状況は。

答 観音寺戸田間は一部暫定堤や未堤部分を残して一定の築堤整備がなされている。私市川北間は用地買収に向けた用地測量・物件調査が実施されている。

問 今年の台風2号で茶畑などが大きな被害を受けた。早期の築堤の完成が望まれるが、今後の見通しは。

答 観音寺・興地区における暫定堤の整備は、対岸の私市地区の築堤整備の進捗など、左右岸・上下流のバランスを踏まえ実施すると聞いており、完成堤への整備を強く要望していきたい。（都市整備課）

動物との共生社会の再構築

問 本市の捨て猫対策の現状と対策は。

答 猫は犬と違い登録が義務付けされていないため、捨て猫に対する対応は難しい。保健所と連携をしながら飼い主のルールとマナーを呼びかけていく。

問 捨て猫対策として、避妊・不妊手術費用の助成についての考えは。

答 全国の取り組み状況や本市の助成負担を勘案しながら制度化を検討したい。（生活交通課）

政和会
稲垣　司郎 議員

市民交流プラザの建設賛否が人権侵害問題を生む！

問 憲法15条と19条には「すべての公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない」。また「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」と規定されている。某議員は6月議会で凍結賛成（某議員の公約）だったが、某地域は彼に対し9月までの間に9回にわたり糾弾と弾圧を加え、結果、9月議会では早期建設の請願に紹介議員として署名させられ、建設賛成に変わったと聞く。内容は「市長案に反対すると、地元要望が聞いてもらえない。地元議員として地元のことを考えた行動か。邪魔だけはするな新人は静かにしておれ」といったもので、8月には某議員夫妻を30人の集団が呼びつけ、糾弾したと聞いている。「市長案に反対すると、地元要望が聞いてもらえない」という噂は本当なのか。市長に伺う。

答 いろんな人と出会っているし、要望も聞いている。今までの私の行政を見て頂いたらそのままです。

問 また、このことは人としての尊厳を傷つけ、人格無視の大きな人権問題であるが、市長の所見は。

答 人権学習で「人にいちばん近いまちづくり」という中で、議員のみなさんと同席して話す機会があれば一番いいと思っている。

問 市長に申し上げる。本市に根付いている「強権政治に迎合しない者の要望は聞いてもらえない」というこの悪習慣が当市の汚職や腐敗の根源だった。

松山市長はそれを正すために立候補され、市長になられたはずだが、ミイラ取りがミイラになったのでは。

答 私は、強権政治ということが出てくると、ムカムカするたちでかえって向かって行く方なんで、一般の人の誤解であってほしい。

やはり噂は本当だった、公平で公正な市政に陰りが！

問 平成18から22年度、旧1市3町の国からの交付金（地方交付税など）は、旧福知山市で227億円で借金が202億円。旧3町では279億円で借金が104億円だった。旧3町の交付金から借金を引いた175億円の使途について、各町に割り当てられた額は。

答 全市の者が使用しているので分けられない。

問 交流プラザは、集客が目的である。ならば福知山駅に高齢者が来られるよう福知山駅以外の駅にエレベーターを過疎債や合併特例債で設置する考えはないか。

答 議員さんもこの前の議会で賛成してもらったら、設計のことの意見も聞けるようになったのですが。（財政課・市長公室）

公明党市会議員団
足立　伸一　議員

市民交流プラザについて

問 建設予定地の取得単価に、相手により大差があるのはなぜか。駅周辺の保留地価格は水増しがある。それらが合併特例債発行額になっている。その調達資金は、JR西日本以外は外部に流出せず、一般会計と特別会計間のキャッチボールで赤字補填に使われた。建設中止による約17億円返還で新たに損害を生じるかのような試算は、実態と違うのではないか。

答 価格の違いは設定の経過が反映している。保留地単価が高いのは価格改定が遅れたため平成7年の地価の高い時期のものとなっている。会計間の移動については、市どうしといっても、別の事業目的があり、同一との見解ではない。また、この処置が駅周辺特別会計にプラスしたことも事実。シミュレーションは恣意的には作成していない。

（市長公室・駅周辺整備課）

地方交付税について

問 合併特例債を使った大型事業が財政に及ぼす影響は。発行額は適正か。また地方交付税で措置される償還財源は将来とも大丈夫なのか。

答 約250億の発行可能額いっぱいを使わずに約220億を見込んでいる。償還の3割の市負担は将来財政を圧迫しないよう、維持費や規模の面を考慮し抑制に努める。国負担分の元利償還金は計算通り確実に交付税に算入措置されている。

問 事業によって多額のランニングコストがかかる。また減価償却費も必要だ。今の会計制度ではその概念がない。説明責任を果たす上で今後どのように対応するのか。

答 平成21年度より、新公会計制度の導入による財務4表を全議員協議会で報告している。今後、コスト情報や減価償却などの概念を取り入れる方向で報告していく。

（財政課）

山林資源を生かす新エネルギー施策は

問 資源のない我が国でも山林資源は豊富。活用のインセンティブが必要。官民一体で推進すべきでは。

答 木材価格の低迷により放置山林が増えており、国の林業再生プランを活用して施策を行っていく。地球温暖化対策地域推進計画の市民アンケートなどを反映させ年度内で策定する。

（環境政策室・林業振興課）

夜久野町の山林

市民と改革の会
髙橋　正樹　議員

3階建建物への大きな規制緩和に

問 以前から要望していた3階建建物の直結直圧給水がやっと認められた。その効果は大きいと思うが。

答 受水槽の設置費用や維持管理費用の削減、安全安心な水道水の安定供給を期待して、施行基準を改正した。市民生活の利便性向上に一定の効果が図れる。

（ガス水道営業課）

耐用年数を迎える下水道の今後は

問 50年の耐用期限を迎える下水道施設改築更新の財政負担はどうなる。

答 今後、10年間で約122億円を試算している。最適な工法を考えながら、国の交付金や事業費縮減で財源確保に努めていく。

問 下水道事業の公営企業化への進捗状況は。

答 来年4月には公営企業化をスタートさせ、経営状況や費用負担を明確にして全体として、市民サービスの向上を図りたい。

福知山市公共下水道終末処理場

問 独立採算になると、使用料金が上がるのでは。

答 一部は一般会計から援助をもらい、現行の事業費の中で検討していきたい。

（下水道管理課）

市民交流プラザ建設『凍結』のその後は

問 6月議会での建設凍結の決議以来、理解を求めようとする説明は一切なく、力ずくで施策を推し進めようとしているように見えるが。

答 凍結の決議については議会の意思表示として重く受け止めている。こちらが強引に施策をやろうという気は毛頭ない。

問 議員個人の意思を無視した強制が行われているが。

答 私どもは全然関係していない。

（市長公室）

市長マニフェストの内部評価は妥当か

問 市長公約の点検結果は内部と市民団体が行ったものに大きな相違がある。内部評価は適切だったのか。

答 内部点検評価は事業に着手したかどうかという観点で点検しており、効果を評価の指標とした市民団体とは異なる結果となった。

問 内部での点検結果を市の広報誌に載せるのは、自画自賛といわれるのでは。

答 市民に説明するにはこれが一番よい方法だと考えている。

（市長公室）

日本共産党市会議員団
塩見卯太郎　議員

住宅リフォーム助成制度で仕事おこしを

問 平成16年に実施した住宅改修助成制度は1672件で市補助が1億4800万円で事業効果は25億円と17倍以上の抜群の効果だった。国の社会資本整備総合交付金について国交省に問い合わせた結果、活用できるとの回答もあり、是非こうした補助金も活用して復活を。

答 国の制度は、地域限定であり、市内全域を対象とすると市単費投入が大きくなる。財政、公平の両面で課題がある。交付金の見解などさらに検討する。（商工振興課）

小規模修繕工事登録者制度で業者支援を

問 円高不況のもと、建設業法の資格要件に満たない中小零細業者の方にも少額の条件で工事ができるように登録者制度ができないか。

答 小修繕工事は、登録制度はないが仕事をしてもらっている。今後、実施自治体の内容を把握したうえで検討したい。（契約検査課）

議会百条委員会の提言による市の総括は

問 市民病院改築工事を巡る市職員収賄事件の議会調査特別委員会の提言にもとづく市としての総括と公表はいつ行うのか。

市職員収賄事件に関係の市民病院立体駐車場

答 市としては内部調査や、法令遵守の徹底、外部検討委員会の提言を実施してきた。議会の提言を受け、現在関係部署で整理している。最終報告を9月中にまとめ、公表する。（職員課）

下水道料金の賦課漏れの総括は

問 下水道料金の賦課漏れによる徴収は、市民に大きな負担であり、市として総括し、公表が必要である。

答 2月の全議員協議会で報告したが、今も市民の理解を得ながら収納に取り組んでいる。収納作業を取りまとめた段階で報告する。（下水道管理課）

同和行政はキッパリ終結を

問 同和行政は終わっており、部落解放団体との交渉や補助金はキッパリ廃止を。

答 解放同盟の人権擁護差別撤廃など市の理念と合致しており、申し入れがあれば交渉に応じ、補助金も継続する。（人権推進室）

日本共産党市会議員団
中島　英俊　議員

これでよいのか「（仮称）夜久野学園」

問 小中一貫校の建設費はおよそどれ位か。

答 新築は4教室。実施設計の結果を待って正確な費用を明示する。

問 学園長をつくるのか。校長、教頭は残すのか。

答 教職員の人事は、府教育委員会が決めるので、今後協議して検討する。

統合計画のある夜久野中学校

問 音楽・保健・図工・理科・図書・コンピューターなどの特別教室、体育館、運動場はどうするのか。

答 夜久野中学校の教室・体育館・運動場で対応できると考えている。小学生が中学校施設を使うので、特に低学年の児童も使えるように改修したい。

問 小学校の卒業式や、中学校の入学式はどうなる。

答 今後協議する。

問 職員室は1つなのか。

答 1つが機能的である。

問 スクールバスは。

答 小学校も必要。台数、便数、運行時間など今後協議して決める。（教育総務課・学校教育課）

これでよいのか改革推進プログラム

問 学校統廃合は大問題。6月議会で突然、平成25年4月に小中一貫校開校と発表し、9月議会で実施設計の予算提案はあまりにも急すぎる。多くの住民はよくわからないと言っている。

答 今後、どんな教育を取り組むか議論を積み重ねる。詳細は未決定であることを了解してほしい。

問 新しい学校というのなら丁寧な対応が必要だ。改革推進プログラムでは、「統合は平成27年度を目標とし、合意があっても綿密な計画と教育環境の準備に時間をかけることが必要」とあるが、2年も前倒しする強引な進め方は、「統合先にありき」だ。

答 平成12年、旧夜久野町のときに「1校で検討したらどうか」という最終答申がある。拙速ではない。（教育総務課・学校教育課）

これでよいのか獣害対策

問 常設の捕獲実施隊の編成状況と駆除目標頭数は。

答 8月に8人と契約。9月12日にスタート。他に10人の補助員を推薦してもらっている。捕獲目標は設定していない。（林業振興課）

福知山未来の会
田渕　裕二　議員

福知山市の不便な住居表示の早期改善を

問 日常生活で使用している住所（自治会）表示と住民票の住居表示が異なり、多くの市民が長年にわたって、生活に不便を感じながら大変混乱してきた事実がある。字天田○○番地や字堀○○番地、区画整理された新住所などが混在し、福知山市民のみならず、転居されてきた市民や、開設された事業所など、何よりも、未来にはばたく子どもたちに分かりやすい住居表示にするためにも、早急に改定する必要がある。

答 住居表示の問題は、歴史的な地名や地域の課題などの問題が多くある。住所の基礎となる市街地の公地図制度が低く、密集地の測量から行う必要があり、大変な費用と膨大な時間がかかる。住民理解と調整にも準備が必要で見送ってきた。

問 住居表示に関する法律が制定されてから50年が経過し、福知山市議会で住居表示の改正決議がされてからでも30年経過している。市民への配慮が欠落しているのではないか。隣接市では完了している。早急に改善してほしい。

答 導入に対して専門部所を設置し、先進地の調査と検討を進めたい。（総務課）

活性化に貢献する地元業者への支援策は

問 景気の低迷に伴い、市内の事業所が減少弱体化している。官民一体となり、地域活動を維持発展させるため、イベントや教育・福祉活動、障害者雇用などに物心共に協力している地元企業に、「地域貢献」という判断基準を取り入れ、役務・指定管理などの地元発注を増進してはどうか。

答 地元事業所の地域貢献は多様な支援協力を賜り、大変感謝している。貢献事業所の評価として、ポイント制は実施していないが、地元支援を促進するために、融資や選定を行い、市内の業者を最優先指名の経緯もある。今後も地元業者を守り育てる方向性は堅持し支援していきたい。（商工振興課・管財契約課）

行政施設の環境対策と照明のLED化を

問 行政施設の照明を電球型LEDや蛍光灯型LEDに交換することで、耐久性と電気料金の大幅な経費削減が見込める。行政施設のLED化と取り組みは。

答 節電や環境対策としてLEDへの市民意識は高い。電気料金が5分の1、耐久性が40倍という利点を考慮すると、交換設置費用などの削減も見込める。今後は公共施設での設置を進めることが必要である。（環境政策室）

福　政　会
稲葉　民俊　議員

第四次総合計画後期計画の基本方針

問 基本構想の見直し点は。

答 新市建設計画に基づき、「北近畿の都」のフレーズを「北近畿をリードする創造性あふれるまち、福知山」に、また人口推計値9万人を7万7000人に見直した。（市長公室）

問 由良川河川敷グランドのトイレ整備を。

答 国交省の許可条件では、緊急時に搬出できるものとしての仮設トイレで固定式トイレは難しい。

問 長田野公園運動広場のトイレ・駐車場の拡張を。

答 多目的トイレの新設と東側野球グランド横に27台分の増設を今年度に発注予定である。（スポーツ振興課・都市計画課）

問 有害鳥獣被害の抑制計画（被害額の抑制目標・具体策）はどのようなものか。

答 平成21年度の5343万円を平成27年度までには3600万円まで抑制したい。捕獲と防除を基本に被害額を抑えていきたい。（林業振興課）

市立動物園の環境問題について

問 園内の臭（にお）いの解消を。

答 8名の職員で清掃を行っているが、今後も工夫をして対策を講じたい。（都市計画課）

教育環境の整備について

問 教室の環境の改善を。

答 学校施設の耐震化が最優先課題であるが、異常高温で教室の環境が悪化している。実態を見極めた上で扇風機など可能な代替措置を講じたい。

問 教室棟のトイレの改修を。

答 バリアフリー化を含め、入学予定者を考慮しながら計画的に維持管理をしていきたい。

市道川北荒木線の通学路について

問 通学路の歩道（がいそく線）の整備を。

答 交通安全事業として今年度中に講じたい。（土木課）

市道川北荒木線の通学路

公明党市会議員団
大谷　洋介 議員

東日本大震災を受けての市の危機管理は

問 被災者支援システムの早期導入を。

答 住民基本台帳、家屋台帳、被災状況を一元化して管理でき、瞬時に罹災証明書を発行できる。全国サポートセンターに利用申請をし、許可が出た。平成24年度に導入する。（総務課）

学校の防犯体制について

問 日新中学校の今回の事件の概要は。

答 福知山市内の中学2、3年の少年グループが、6月26日午前3時半ごろから4時20分にかけて日新中学校に侵入し、石やプランターなどを投げて校舎の窓ガラス計111枚（約77万7000円相当）を破損させた。

問 緊急要望事項として防犯カメラの早期設置を。

答 学校や地域の状況を踏まえながら設置の必要性について検討していきたい。（教育総務課）

市土地開発公社の正確な情報開示を

問 平成22年度決算書では、簿価総額約80億円、金融機関からの借入額約60億円。時価総額は約30億円と言われ、約30億円の損失が見込まれる。その額はさらに50億円、100億円にも膨れ上がるといわれている。解散前に外部監査の導入を。

答 議会が設置した特別委員会による公認会計士の調査と市の検討委員会の調査で充分と考えている。（財政課）

e・ふくちやま事業の更新費用は

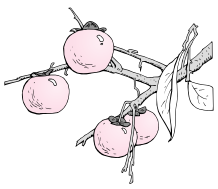
問 平成10年から15年で約50億の費用が必要といわれているが。

答 法定の更新時期は、光ファイバーで10年、通信機器で9年、放送機器で6年。費用は、通信・放送機器で13億7000万円。光ファイバーは、撤去分を含め24億6000万円の2割増になる。（情報推進課）

市職員人件費のさらなる削減を

問 オール福知山での職員数は、平成23年4月1日現在で2063人。人件費は平成22年度決算で116億4484万円となっている。臨時職員の人件費は物件費扱いで含まれないが、その内容は。

答 512人で、7億8800万円となっている。（職員課）



日本共産党市会議員団
足立　進 議員

TPPについて市長の基本的な考え方は

問 TPPに加盟すると、関税がなくなり外国産の農産物価格との競争になる。その結果、消費者が安い米に集中すると、日本の農家は米販売をあきらめざるを得ない状況になる。農業だけでなく、他の23分野にも影響が出てくる。TPPを進めることは、日本の経済を根本から崩すものだ。本市の農業生産額はいくらになると見ているのか。また、農業が衰退しないのか。

答 農林水産省の農業への影響試算では、主要農産品19品目について、全世界を対象に直ちに関税撤廃を行い、なんらかの対策を講じない場合は、影響試算では4兆1000億円程度、食料自給率（カロリーベース）40%から14%に減少する。米については90%が影響すると試算されており、福知山市においても生産額に影響が大きいと考えている。（農業振興課）

中学生議会での提言で今後の実施計画は

問 各学校の質問内容を見ると、日常の学校生活や地域のこと、市全体のことと疑問点が良くとらまえられている。また、市への提言などもあり、今後に生かせるものであるが、六人部中学校では教室のクーラー設置の要望があったが、この夏、各学校の対応はどうであったのか。来年はどうするのか。

答 教室内が高温で、暑い思いをさせていることは承知しているが、耐震化を優先する。しかし、実態を見極めながら扇風機の設置など可能な代替措置が講じられるようにしていきたい。クーラーの設置は、今後の検討課題とさせていただく。（教育総務課）

福知山射撃場室地区の遮音対策は

問 射撃場の近くには住宅がある。最近、特に音が大きくなった原因は。

答 平成18年度より射撃訓練が増えている。

問 いつになれば対策が講じられるのか。

答 福知山駐屯地として、防衛庁に予算を要求する中で、防音対策については土盛りと樹木の植栽を予定している。（市長公室）

住宅地の近くにある射撃場

無会派
桐村　一彦 議員

市の「原発事故」対応と備えは

問 想定外の災害への防災対策の考えは。

答 尊い経験を生かし、避難所の充実や市民の的確な判断や行動への啓発を強化していく。

問 原発の事故発生時対応の考えを。

答 放射能簡易測定機がそろえば、定期測定し、情報公開する。避難行動は府などと連携を取りながら考えていく。

問 自主防災組織の現状と育成強化は。

答 9月現在、327自治会中、195自治会が組織。未結成の自治会に組織化をお願いしている。（総務課）

市土地開発公社引き受けは『特別会計』で

問 市土地開発公社の解散を検討されているが、市の今後の対応は。

答 市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員会の報告で、清算も視野に入れて検討すべきとの意見をいただき、さらに市土地開発公社経営検討委員会で、平成3年を頂点に地価の下落が続き、土地の先行取得の必要性がなくなったとして、解散の提言を受けた。これらを受け止め、解散を含む方向性について12月議会をめどに説明する。

問 解散、市引き受けの場合は、保有土地評価額が非常に不明瞭であり、「特別会計」としてしっかり管理を。

答 引き受けの場合は、相談検討の上、適切な処理対応をしたい。（財政課）

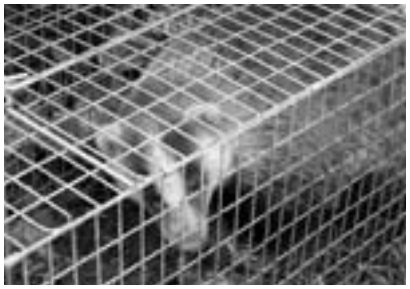
農村地域の課題と活性化対策は

問 荒廃が続く農地の再生対応は。

答 耕作放棄地の解消に向け、特産としての「みょうが」「山ぶき」の栽培を促進、支援している。（農業振興課）

問 若者定住と雇用に対する施策は。

答 ふるさと就職応援基金を財源として若者定住策に取り組んでいる。また、福知山雇用連絡会議を通じて地元就職策に取り組み、農山村活性化計画に沿って地元や府との連携による活性化策を行っている。（農林管理課・商工振興課）



農村地域を悩ます有害鳥獣（あなぐま）

日本共産党市会議員団
吉見　純男 議員

市民交流プラザ凍結決議と市の説明責任は

問 6月定例会で市議会が行った、市民交流プラザの凍結決議に対して、市は「決議の重さを深く受けとめ、実施設計の発注を留保している」と回答されているが、当初予算の留保のみならず、財政問題など決議の内容を真摯に検討してその結果を議会、市民に対して説明する責任が発生している。そうしないと、本質的な問題解決につながらないと考えるが。

答 3月議会で予算承認を得たが、選挙で議会が新体制になった。説明が不十分で反省している。オール福知山としての財政シミュレーションを10月の決算委員会までに明らかにして、利便性向上の観点から、見直すべきは見直す。

問 高度経済成長型開発政策の継続と前例踏襲主義による行財政の硬直化を厳しく総括し、その反省の上に立って、市民福祉の向上と安全を最優先した持続可能な行政執行が求められる。再検証を行い、必要な見直しが完了するまで現計画は凍結すべきだが。

答 現段階で考慮すべき点をすべて組み込んだ中期財政シミュレーションを示すなかで、ご指導ご鞭撻をお願いし、既決予算の執行に着手していきたい。（市長公室）

合併処理浄化槽使用料は公共料金で

問 合併処理地域は行政の都合で指定され、下水道など集合処理には加入できない。集合処理の使用料は公共料金として、水道使用料を基本に徴収されている。合併処理浄化槽設置者は一人住まいであっても、7人槽などの管理費を委託業者に支払わなければならない。地域によっては、推進組合の維持さえ困難となっている。集合処理区域との公平性にかける。また、業者によって料金が違う。綾部市や京丹波町は使用人数による公共料金制となっている。福知山市も公共料金とすべきだが。

答 福知山市の合併処理浄化槽委託管理者は4業者であり、7人槽の管理費は最高で9万円、最低は7万3000円と聞いている。公共料金化は、設備の無償譲渡など難問が多くあり難しい。（下水道管理課）

負担の公平化が求められる合併処理浄化槽

公明党市会議員団
吉見　茂久　議員

農山村振興と定住施策について

問 農山村空き家バンク事業について、今までの登録申請の件数及び成約数は。

答 空き家情報バンク制度は平成21年6月に本市農山村地域の空き家、建築可能な空き地を登録対象として運用を開始した。平成23年9月10日現在での登録者数は、空き家登録13件、利用者登録84件、成約数5件、入居者数15人となっている。

問 契約に至るまでのサポートとして、府の「京の田舎ぐらしナビゲーター制度」を利用する考えは。

答 「京の田舎ぐらしナビゲーター制度」はIターンなどによる都市住民の農山村移住を推進するために、現地でのよりきめ細かい情報の提供やアドバイスを行うもので、福知山市では6名活躍いただいている。今後はナビゲーターとも連携を図り、移住者の受け入れを推進していきたい。

（農林管理課）

救急医療情報キットについて

問 迅速な救急医療の提供につながるキットの導入を。

答 キットの導入に関して今後、配布対象者の範囲、配布方法などを各関係機関と調整していきたい。

（高齢者福祉課）

福知山市障害福祉計画の取り組みについて

問 市役所の各窓口に手話通訳者の配置を。

答 窓口のある課に手話通訳のできる職員を配置する必要性を認識している。今後、市が行う手話奉仕員養成講座、あるいは職員研修の一環である財団法人京都府市町村振興協会の手話研修を通じ、一人でも多く手話のできる窓口職員を養成していきたい。

（社会福祉課・職員課）

福知山市地域防災訓練について

問 今回の訓練の成果は。

答 合同救護所構築訓練などの基礎的な関係機関との連携訓練や要配慮者の避難訓練を新たに取り入れ、計画通り実施できた。また、地域訓練の参加が過去最多となったことは、市民の皆さんの危機意識が向上していることの表れと考えている。

（総務課）

今年の台風15号による豪雨で増水した由良川

無　会　派
塩見日出勝　議員

1市3町合併問題について

問 合併後5年が過ぎ、当時の協定事項の達成度は。

答 98・8％の進捗率だ。

問 旧3町の現状と今後の町づくりの方向性は。

答 策定中の第4次市総合計画後期計画に基づき進めている。旧3町は支所を活用した市民サービスを確保し、地域振興を充実させ、過疎債などを使い、市域の均衡ある発展に努めたい。

（市長公室）

防災施策について

問 防災行政無線の充実を図り、山間部にも増設すべきではないか。

答 屋外拡声子局は由良川、土師川、牧川流域などに53基が設置済みである。山間部については、今後、土砂災害警戒区域の世帯に戸別受信機の整備を進めている。

問 市民に防災情報を伝達する手段は。

答 防災行政無線のサイレン・音声、エフエムキャッスルの緊急割込放送、消防団の広報車、携帯メール配信、市のホームページ、NTTドコモエリアメール配信サービス、地上デジタル放送などである。

（総務課）

国際交流に関して

問 「ふくちやま大使館」設立計画の状況は。

答 外国籍市民の生活支援、民間国際交流団体の活動支援、市民と外国籍市民の国際交流団体の拠点となる組織・施設としての役割を掲げている。

問 外国人登録者数の現状は。

答 本市の外国人登録者数は平成13年1150人だったが近年減少傾向にあり平成23年では899人である。

（まちづくり推進課）

問 市職員を青年海外協力隊へ参加させる考えは。

答 協力隊に市職員派遣実績はないが、条例により活動終了後は、職務に復帰できる休業制度の趣旨を生かせたらと考える。

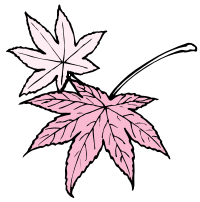
（職員課）

経済活性化問題について

問 市内の経済効果の拡大と合わせて、地元業者の育成は。

答 特別な工事など以外は市内に本社・本店をもつ業者を優先指名し、市内業者発注に努めていく。そのことが市内業者の育成につながると考えている。地域活性化のために、今後ともそのような方針でいきたい。

（管財契約課）



市民と改革の会
荒川　浩司 議員

夏休みの放課後児童クラブを終えて

問 毎年課題の多い、夏休みの事業を終えての課題は。

答 夏休みは、多くの児童申し込みがあり、1人当たりのスペースの確保ができなかった。将来的には児童館や現在の学校の教室を利用できないか検討中。夏休みのパート指導員の確保についても、迷惑をかけている。今後はできる限り、利用者の人数把握を早く行い、指導員体制を早く確立したい。熱中症対策は、指導員が心を砕いた問題であり、クラブの統一的な方向はなく、今後の課題。4年生の受け入れは、現在は長期休養中としているが、本市の「次世代育成計画」でも、4年生の受け入れについてうたっており、今後検討したい。

（子育て支援課）

市民交流プラザについて

問 施設の早期建設を求める請願署名が地域に回っており、その設立発起人や（私たちも応援します）の団体に、市の特別職である自治会長連営委員会や市の補助金を受けている団体が多いが、市の見解は。また、この署名用紙が回覧板で回っていることについての見解は。

答 各種団体の判断で取り組まれているのではないか。回覧板の件は、同義的な面での質問だと思うが、自主的な活動であり、その趣旨から逸脱しているとは思っていない。

問 市長は成美大学での講演で「交流プラザが凍結となり腹立たしい。今後は、市民からの建設推進のアクションを期待する」とコメントされているが「この建設推進のアクション」とは、建設推進署名のことだったのか。また、補助金を出す側と受ける側に利害関係、しがらみが生じていると思うが、市長の考えは。

答 私の発言と建設推進署名に関係があったとは思っていないし、しがらみについても、発生するとは考えていない。

問 建設推進署名の設立発起人に名前を連ねている「社会福祉協議会」は、市から補助金を受け、指定管理も受けている法人である。どのような経緯で発起人になられたのかを調べると、正副理事長会議で決められ、理事会や評議委員会は開かれていない。また、議員からも「社協」に理事を出しているが、事後報告もない。さらに、正副理事長会議の議事録の開示請求を求めたが、開示されない。以上の件についての、市の見解は。

答 どう言う形で決められたのか分からないが、それぞれの団体には規則があると思うので、何とも答えようがない。

（市長公室）

平成会
谷口　守 議員

国道9号瑞穂福知山間の早期改修を

問 京都縦貫自動車道が完成すれば、現状の国道ではドライバーからも敬遠され、福知山市に影響が大きい。早期の改修要望を。

答 丹波から和知の区間は、平成26年度末の供用開始を目指している。供用が開始されると、当市への観光入込客などの減少が懸念されることや、アネックス京都三和への利便性の向上を図る上からも、当区間の四車線化などは重要課題と認識している。今後とも国交省や地元選出国会議員への要望活動を強く進めて行きたい。

国道9号福知山道路の進捗状況は

問 福知山道路は、長田野から新庄までの5・8㎞で土師バイパスや堀高架橋を含む四車線化事業で昭和53年から事業展開され、現在、堀高架橋の工事が進められている。地元住民のみならず、高速道路からの入り込みなど交通量の集中する交差点で、渋滞の解消のために一日も早い完成を願っている。今後の計画は。

答 国交省において、今年度当初予算で4億1000万円を確保し、新土師橋や福知山大橋の上部架設、堀高架橋の下部工事などを実施すると聞いている。今後、長田野から岡地区までの四車線化事業は平成26年度内に供用開始の予定と聞いている。

（都市整備課）

市民交流プラザについて

問 6月議会で市民から出された「建設凍結に関する請願」は賛成多数で否決され、議員提案の「建設の凍結を求める決議」は僅差で可決された。確かに、今の財政状況での投資による将来負担などを考えると、慎重に有るべきとの意見は耳を傾けなければならない。ただ、今日までの経過を考え、「今さらなぜ」の声を聞く。充分に検討を重ねて来た事実のもと、継続を強く望むが、市長の見解は。

答 この基本計画は5年程度を要するため、今が有利な制度を利用できる限界と考えている。目先でなく10年、20年を見据えて、喜んで頂ける市政を目指している。

（市長公室）

問 京都ジョブパーク北部サテライトを交流プラザ内に設置を計画した意義、現在の利用実績は。

答 府の総合就業支援拠点として、利用者が北部全体に及ぶことなどから、最も駅に近い場所が適当と判断した。利用者数は、開設以来平均で年間2661名。

（商工振興課）

平成会
高宮　辰郎 議員

入札制度について

問 本市は入札予定価格を事前公表しているが、府下の自治体で事後公表を実施している市は、綾部市、亀岡市、京丹後市。近隣では兵庫県丹波市、朝来市であり、本市を取り巻く近隣市で事後公表になっている。国の方針も踏まえての見解は。

答 国交省の言っている弊害については、本市において顕著な動きはない。京都府の動向も勘案しながら検討していく。

問 予定価格の上限から下限までの間が適正価格となるが、常にその下限線上での落札が常態化すれば、適正な利潤を計上することができない。法人税や、所得税の増加による財政健全化が本来の形だ。現状は本末転倒だ。改めて見解を伺う。

答 経済の活性化による税収の増加が目指すべき形と理解している。予定価格を事前公表することが、最低制限価格付近での競争となるとの指摘だが、今年8月に出された国交省の入札契約適正化指針の中に、予定価格を事前公表すると予定価格が目安となり、競争が制限され、落札価格が高止まりになることや、建設業者の見積もり努力を損なわせる弊害が生じかねないといったところも指摘されている。本市においては、入札予定価格については、事前公表しており、現在のところ、予定価格の事前公表を事後公表に移行することは考えていない。弊害があれば、府の動向など勘案し検討したい。（管財契約課）

防犯灯のLED照明導入推進について

問 LED照明のメリット、デメリットと、今後の積極的な取り組みは。

答 メリットについては、電気代が安く、維持管理コストの削減ができる。電気機器メーカーなどの試算によると、蛍光灯との比較値で、防犯灯1基について電気代は年間約700円節約でき、維持費は15年間で約2万1000円削減できる。デメリットについては、LEDの価格が高く街路灯では灯具の交換などが必要な場合がある。防犯灯をLED化した場合、年数が経過するほどコスト削減効果は大きくなる。将来的には、さらなる電気代の削減ができるものと考えている。今後新たに設置する防犯灯については、LED化を前向きに検討したい。（土木課）

福知山市議会ホームページへのアクセスは検索画面で

福知山市議会　検索

を入力してクリック！

http://fukuchiyama-shigikai.jp/

市議会ホームページでは、議員紹介、議決結果、定例会日程、市議会の概要などが確認できます。また、会議録の閲覧・検索、議会中継や録画放映を見ることができます。

議会日誌　8月～10月

【8月】
1日　議員研修会
2日　静岡県沼津市議会行政視察来市
3日　全国市議会議長会基地協議会近畿部会、市民厚生委員協議会
5日　議会運営委員会、議会運営委員協議会
8日　中学生議会
9日　総務委員協議会
10日　議員研修会
11日　経済委員協議会管内視察
15日　議員研修会
17日　文教建設委員協議会
18～19日　議会運営委員会行政視察
23～24日　由良川沿川市議会関係委員会正副委員長会要望活動
25日　常任委員長協議会、議会運営委員協議会
26日　議会だより編集委員議会広報研修会
30日　総務委員協議会、議会だより編集委員協議会
31日　全議員協議会、議会運営委員会、議会運営委員協議会、決算説明会

【9月】
7日　9月定例市議会本会議、文教建設委員協議会、議会運営委員協議会、各派幹事会
9日　議会だより編集委員協議会
12日　総務委員協議会
14日　議会報告会作業部会
15日　9月定例市議会本会議
16日　9月定例市議会本会議、常任委員長協議会
20日　9月定例市議会本会議、各派幹事会
21日　議会報告会作業部会
22日　総務委員会、市民厚生委員会、経済委員会、文教建設委員会、議会運営委員会、文教建設委員協議会
29日　9月定例市議会本会議、全議員協議会、議会運営委員協議会、議会だより編集委員会、各派幹事会

【10月】
3日　大分県豊後高田市議会行政視察来市
3～5日　市民厚生委員会行政視察
5～7日　文教建設委員会行政視察
6日　総務委員協議会
11日　議会だより編集委員会
12日　総務委員協議会、議会報告会作業部会
13日　経済委員協議会
14日　全議員協議会、議会運営委員会、総務委員協議会
17日　決算審査特別委員会
18日　決算審査特別委員会
19日　決算審査特別委員会
20日　議会運営委員会行政視察
24日　決算審査特別委員会、各派幹事会
25日　議会だより編集委員会、議会報告会作業部会
26～28日　総務委員会行政視察、経済委員会行政視察

9月定例市議会の議決結果について

9月定例市議会では、15議案を22日開催された各常任委員会で審査したのち、最終日の29日の本会議で、いずれも原案のとおり可決しました。

また、議員提案により『「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の凍結解除と建設促進を求める決議』が可決されたほか、市民から出されていた請願1件を採択、請願2件を不採択としました。

■議員別議案賛否一覧表（賛否が分かれた議案の賛否状況を掲載しています。）

会派別議員名（議決結果） ＼ 議案		議第17号 平成23年度福知山市一般会計補正予算(第2号)	議第21号 福知山市税条例等の一部を改正する条例の制定について	議第23号 福知山市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について	議第24号 福知山市立公民館条例等の一部を改正する条例の制定について	議第51号 過疎地域自立促進市町村計画の変更について	市会発議第5号 「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の凍結解除と建設促進を求める決議	請願 「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の是非を問う住民投票条例の制定を求める請願	請願 「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の早期建設と更なる充実を求める請願	請願 「(仮称)夜久野学園整備事業」計画の「凍結」を求める請願
議決結果		可決	可決	可決	可決	可決	可決	不採択	採択	不採択
日本共産党福知山市会議員団	塩見卯太郎	×	×	×	×	×	×	○	×	○
	足立　進	×	×	×	×	×	×	○	×	○
	大槻富美子	×	×	×	×	×	×	○	×	○
	中島　英俊	×	×	×	×	×	×	○	×	○
	吉見　純男	×	×	×	×	×	×	○	×	○
公明党福知山市会議員団	大谷　洋介	○	○	×	○	○	×	×	×	×
	足立　伸一	○	○	×	○	○	×	×	×	×
	吉見　茂久	○	○	×	○	○	×	×	×	×
福知山未来の会	田中　法男	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	奥藤　晃	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	田渕　裕二	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	谷垣　和夫	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	森下　賢司	○	○	○	○	○	○	×	○	×
平成会	谷口　守	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	高宮　辰郎	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	藤田　守	○	○	○	○	○	○	×	○	×
政和会	木戸　正隆	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	稲垣　司郎	○	○	○	○	○	×	○	×	×
福政会	稲葉　民俊	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	和田　久	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	芦田　眞弘	○	○	○	○	○	○	×	○	×
市民と改革の会	荒川　浩司	○	○	○	○	○	×	○	×	―
	髙橋　正樹	○	○	○	○	○	×	○	×	―
無会派	桐村　一彦	○	○	○	○	○	○	×	○	×
	塩見日出勝	○	○	○	○	○	×	○	×	×

○：議案に対して賛成　×：議案に対して反対　―：棄権　※野田勝康議員(福政会)は、議長職のため表決に加わっていません。
※所属会派は9月末現在

■全員賛成で可決となった議案

議第18号	平成23年度福知山市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第47号	工事請負契約の締結について(仲ノ坪北貯留施設築造工事)
議第19号	平成23年度福知山市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第48号	工事請負契約の変更について(川口地域他FTTH網整備工事)
議第20号	平成23年度福知山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	議第49号	工事請負契約の変更について(夜久野地域他FTTH網整備工事)
議第22号	福知山市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	議第50号	工事請負契約の変更について(庵我地域他FTTH網整備工事)
議第46号	工事請負契約の締結について(高機能消防指令システム設置工事)	議第52号	土地改良事業の施行について(農地農業用施設災害復旧事業)

9月定例市議会 常任委員会審査報告

総務常任委員会

9月定例市議会本会議で、委員会付託を受けた条例改正、補正議案など9議案を9月22日に委員会を開催し、慎重に審査を行い、5議案を全員賛成、4議案を賛成多数で原案のとおり可決しました。

主な議案審査

▼平成23年度一般会計補正予算(所管事項)

●夜久野学園整備事業として小中一貫校の実施設計に過疎債1000万円をあてます。

●安心・安全を守るため衛星携帯電話、放射線測定器を各1台購入するため、70万円を追加補正します。以前より衛星固定電話は市役所と市民病院にあり、今回より持ち運びが可能となります。放射線測定器は空中線測定として府振興局に1台あるため、地上線測定用として購入します。委員からは意識を高めるために、衛星携帯電話、放射線測定器の購入台数を増やすようにとの意見がありました。

●消防団員等公務災害補償責任共済の一部改正により、今年度に限り掛金が引き上げられ、4924万円を追加補正します。この経費は、東日本大震災により、多数の消防団員が活動中に死亡、行方不明となり、その補償を全国各市町村が追加負担し支払うものです。公務災害補償を充分行うようにとの意見がありました。

(賛成多数可決)

▼福知山市税条例等の一部改正

●地方税法の一部改正に伴い、正当な理由なく市税に関する申告を怠った場合の過料を3万円から10万円に引き上げるなどの改正をします。委員より、罰則強化にならないかとの意見が出されました。

(賛成多数可決)

▼福知山市公民館条例の一部改正

●地域公民館の整理に伴い、中夜久野地域公民館を中夜久野集会所として、福知山市学習等供用施設条例に加えます。行政財産として指定管理の適応となりますが、当分の間、維持管理は地元管理とし、今後条例が整理できれば、指定管理者を募集していきます。

(賛成多数可決)

▼過疎地域自立促進市町村計画の変更

●夜久野町副谷地区の農道舗装、3町地域の高校生定期乗車券補助、夜久野地域学校統廃合事業などが追加されます。夜久野小中一貫校の改築の全体像、事業費が明確でなく、時期尚早との意見がありましたが、過疎計画は関連部局と綿密に調整した上で変更しているとのことです。

(賛成多数可決)

市民厚生常任委員会

9月定例市議会本会議で、委員会付託を受けた補正議案の4議案を9月22日に委員会を開催し、慎重に審査を行い、全議案全員賛成で原案のとおり可決しました。

議案審査

▼平成23年度一般会計補正予算(所管事項)

●災害ボランティア支援事業では、東日本大震災により必要とされる被災地へのボランティア派遣を円滑、迅速に対応できるよう支援を行うための経費として40万円を補正します。

●地域公共交通調査事業では、今年度、国土交通省において創設された「地域公共交通確保維持改善事業」の「地域公共交通調査事業」を活用し、昨年度に策定した「福知山市地域公共交通(バス)の再構築に関する基本方針」や、本年3月25日に内閣総理大臣から認定を受けた「福知山市中心市街地活性化基本計画」に位置付けられた「まちなか循環路線バス」の事業化に向け必要となる「福知山市生活交通ネットワーク計画」の策定に要する調査を実施するための経費として777万円を補正します。

(全員賛成可決)

▼平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算

●平成22年度繰越金1億8339万円のうち、1億5092万円を国民健康保険事業基金に積み立てをします。また、平成22年度療養給付費等負担金(国庫負担金)の額確定により超過交付となったため、3246万円を償還金として国へ返還します。

(全員賛成可決)

▼平成23年度介護保険事業特別会計補正予算

●平成22年度繰越金の内、平成23年度に返還すべき額を除いた剰余金を、介護給付費準備基金に4449万円を積立てます。また、平成22年度に超過交付を受けた介護給付費負担金等1562万円を償還金として返還します。

(全員賛成可決)

▼平成23年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

●後期高齢者医療被保険者証の交付を受けている人の健康診査に要する経費として405万円を補正します。

(全員賛成可決)

9月定例市議会 常任委員会審査報告

経済常任委員会

9月定例市議会本会議で、委員会付託を受けた条例改正、補正議案など4議案を9月22日に委員会を開催し、慎重に審査を行い、3議案を全員賛成、1議案を賛成多数で原案のとおり可決しました。

主な議案審査

▼平成23年度一般会計補正予算(所管事項)

●本年5月の豪雨で浸水した、茶園の樹勢回復に要する肥料代の補助として219万円を補正します。また、575万円を補正し、新規茶園の造成や煎茶から玉露への品質向上を図るため、被覆棚施設の整備を行い、茶業振興を行います。

5月豪雨で浸水した土地区の茶園と福知山地方てん茶組合の茶工場

●本年5月10～11日と5月29～30日の豪雨により、被災した農地5カ所、農業施設10カ所を復旧するための経費として6274万円を補正します。

●林道施設災害復旧として、豪雨により3路線、5カ所の林道を復旧するための経費として452万円を補正します。

(全員賛成可決)

▼福知山市公設地方市場条例の一部改正

●今回の改正は、市場施設の管理を指定管理者に行わせることができるとする改正です。委員からは、公設市場の業務が適正に行われるのか。農林業の振興はどうなるのか。減免制度について等の質疑があり、全国にはすでに指定管理者による管理運営を行っている公設市場がある。市の他の施設でも指定管理者制度を導入しており、条例や協定等のルールがあるので問題ない。施設の管理と利用料金に不都合がないようにしなければならない。市の農業振興の大切な拠点として位置づけたい。公設市場を利用している業者の経営が厳しい中、平成7年度より使用料の減免制度を行っているとの答弁でした。

(賛成多数可決)

▼工事請負契約の締結(仲ノ坪北貯留施設築造工事)

●この工事は、篠尾新町の仲ノ坪北公園の地下に、雨水の貯留施設を築造するもので、請負金額は約1億5234万円。すでに2カ所の公園に貯留施設が完了しており、これが完成すると浸水対策の効果が高まります。

(全員賛成可決)

文教建設常任委員会

9月定例市議会本会議で、委員会付託を受けた条例改正、補正予算の2議案を9月22日に委員会を開催し、慎重に審査を行い、全議案を賛成多数で原案のとおり可決しました。

議案審査

▼福知山市公民館条例等の一部改正

●福知山市公民館条例の一部改正により、①合併協定の経過措置に基づき、旧3町の13地域公民館が地区公民館に移行することに伴い、市立公民館の数が22館から9館になります。②公民館運営審議会委員の数が23人以内から20人以内となります。③大江地域公民館の所在地が大江町総合会館(河守)から大江町尾藤121番地の1(現河東地域公民館)となります。委員からは、公民館は地域のよりどころである。均衡をとるために統一していけば、市長の地域の特色を大切にする思いに反するのではという質疑があり、合併協定では、大江の場合は3公民館であったが、協議の中で、7公民館にした。地域の特性を活かした活動を充実させたいという答弁でした。

(賛成多数可決)

▼平成23年度一般会計補正予算(所管事項)

●(仮称)夜久野学園整備事業　夜久野地域の3小学校を統合し、小中一貫校を設置するために必要な校舎建設に伴う実施設計の委託経費として1000万円を補正します。委員からは、基本設計の後、実施設計ではないのか。また、先に事業費の概算を出すべきではないかという質疑があり、基本計画については、既存施設を利用する場合は業者委託を行わない。概算は詳細を検討しているところで、実施設計完了後、正確な費用について報告させていただくという答弁でした。

●府の緊急雇用特別対策事業補助金を活用し、学校図書館機能充実事業として小中学校に司書教諭補助員を配置し子どもの読書活動を推進するための経費として847万円、また道路維持管理パトロールモデル事業として、日常的な道路パトロールの実施により通行者の安全性と快適性の向上を図るための経費として592万円を補正します。委員からは、図書館司書の資格を持った方の有効な雇用が必要ではないかとの質疑があり、図書館司書の指導の下、図書の整理をしていただくので、専門的知識は求めていないという答弁でした。また、パトロールモデル事業終了後の継続した道路管理計画があるのかとの質疑があり、平成24年度の予算化は難しいが、平成25年度以降に検討したいとの答弁でした。

(賛成多数可決)

決議・請願の状況

9月定例市議会では、「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の凍結解除と建設促進を求める決議が13対12の賛成多数により可決されました。

先の6月定例市議会では、「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の「凍結」を求める決議が可決されましたが、一転して建設促進を求める決議の可決となり、市民の皆さんの関心を集めました。

「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の凍結解除と建設促進を求める決議

平成18年1月紆余曲折のなか1市3町が合併し新福知山市が誕生した。その新市まちづくり計画の中で基幹的事業として位置づけられたのが「(仮称)北近畿の都センター」建設事業であった。

平成20年に松山市政が誕生し、自らの公約に基づき、箱物行政の見直しと、多額の建設費を要するとして「(仮称)北近畿の都センター」の建設を一旦凍結したが、その建設の是非を問うため、一般市民を含めた市民検討会議を設置し判断を仰いだ。その結果、生涯学習や文化活動等の拠点となる「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の実施設計予算7,710万円が本年3月定例議会において議決された経緯がある。

今回の計画は、図書館を中心として、子どもから高齢者、障がいのある人など、多くの市民が「学び・集い・支える」機能を備えており、また、京都北部の若者等の就業を支援する京都ジョブパーク北部サテライトが配置されるなど、本市に欠かせない機能を備えたものである。併せて、中心市街地活性化基本計画の中核的施設の役割もあり、疲弊しつつある市街地の活性化に大きく寄与するものである。

本市の将来に向けた財政的課題についても、中心市街地活性化基本計画等の補助金や合併特例債などを最大限活用し、現制度の中では、もっとも有利な財源を充当しており、ランニングコストも当初計画より大幅に削減され、将来に向けた財政負担に対する配慮も十分なされている。

また、一連の計画となっている老朽化が進む市民会館の耐震化や中央保健福祉センターのバリアフリー化などの整備も一刻も待てない状況であり、合併特例債という有利な財源を有効に活用すべきと判断する。

6月定例議会での「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の凍結に係る判断は、取得済みの用地購入費の一括返済など財政的負担は極めて多大であり、将来的な財政運営にむしろ大きな課題を残すと考えざるを得ない。

このような状況を踏まえ、福知山駅という交通の利便性を活かし、障がいのある人や高齢者をはじめとして、市民にとってより有効な施設として利用されることを目的に、住民票の自動交付機やボランティアセンターの設置など「学び・集い・支える」施設として、より充実した形で「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の凍結を解除し、建設を促進することを強く求める。

以上決議する。

平成23年9月29日　福知山市議会

発議者　福知山市議会議員　田渕　裕二

賛成者　福知山市議会議員　森下　賢司　谷口　守　芦田　眞弘　木戸　正隆

請　願

■採択となったもの

●「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の早期建設と更なる充実を求める請願

請 願 者／上川口自治会会長　丸山　強さん　三岳自治会会長　年次　紘則さん
公誠地域振興会会長　奥村　廣人さん

紹介議員／桐村　一彦　田渕　裕二　稲葉　民俊　高宮　辰郎

(請願の目的)

市民の声をもとに議論を尽くされた「(仮称)市民交流プラザふくちやま」建設計画の早期着手と更なる内容の充実を求めます。

■不採択となったもの

●「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の是非を問う住民投票条例の制定を求める請願

請 願 者／福知山・市民・オンブズパースン委員会代表　西山　惠一さん

紹介議員／稲垣　司郎　荒川　浩司　塩見卯太郎

(請願の目的)

「(仮称)市民交流プラザふくちやま」の建設の是非を問う住民投票条例の制定を強く求めます。

●「(仮称)夜久野学園整備事業」計画の「凍結」を求める請願

請 願 者／精華小学校を残す会　代表　塩見　均さん　夜久　弘明さん

紹介議員／塩見卯太郎　大槻富美子

(請願の目的)

平成23年度補正予算案事業名「(仮称)夜久野学園整備事業」(校舎建設に伴う実施設計業務委託　一式1000万円)の「凍結」を求めます。

議会だより編集委員会からのお知らせ

議会だより編集委員会では、住民とともに歩む広報紙づくり、議会活動の公開、分かりやすい記事内容などの充実を図っていくため、今回号から新企画の掲載や紙面リニューアルを行っています。主な内容は以下のとおりです。

●表紙写真を市民の皆さんから募集します。（P1）

次回号（2月発行）のテーマとして、冬にちなんだものや季節行事などを受け付けます。掲載写真は、議会だより編集委員会で選考を行います。

〔受　付　期　限〕　平成24年1月13日（金）

〔問い合わせ先〕　福知山市議会事務局　℡0773-24-7031

●議案採決の議員別賛否の状況を掲載します。（P15）

情報の公開をすすめ、議会をより身近に感じていただくために、議案に対する賛否の状況を議員別に公開します。

●「元気やで福知山!」議員訪問インタビューの取材先を募集します。（P20）

個人、地域活動、サークル、企業、学校など、福知山でがんばる人の姿を伝えていきます。また、取材を通じて議員自らが学び、議会活動につなげていくことを目的としています。取材先は議会だより編集委員会で選考を行います。

〔受　付　期　限〕　平成23年12月28日（水）

〔問い合わせ先〕　福知山市議会事務局　℡0773-24-7031

〔お詫び〕

平成23年6月15日発行「ふくちやまし議会だより特集号」及び平成23年8月15日発行「ふくちやまし議会だより№86」の記事の中に誤りがありましたので、次のとおり訂正しお詫びいたします。

●特集号「福知山市土地開発公社の不適切な事務処理等調査特別委員会（報告書）」

1ページ及び6ページの福知山市荒河東町57の写真が間違っておりました。正しくは和久市町183－2ほか3筆でしたので、訂正しお詫びいたします。

●№86

15ページ3段目27行中の土地開発公社とあるのは、用地販売促進室の誤りでしたので、訂正してお詫びいたします。

ご意見箱

市民の皆様から貴重なご意見をいただきましたので紹介し、お答えします。

○紙質が良すぎるのではないか。

現在使用しているコート紙は一番安価なものを使用しています。

○一般質問の質疑が簡素化しすぎて内容が分からない。

限られた紙面の中でありますが、質疑の内容を伝えるよう努力をしていきます。また、福知山市議会ホームページにおいて、本会議の質疑内容を会議録の閲覧や録画放映で見ることができます。

新企画 「元気やで福知山！」議員訪問インタビュー No.1

■訪問議員：藤田 守議員・吉見 茂久議員（10月11日長田野グランドにて）

成美大学 硬式野球部に訪問

～勉学・部活動にがんばる学生たち～

今回から新企画として、市民の皆様とともに創る議会だよりを目指して、「元気やで福知山！」を掲載します。
福知山で様々な活動を通じてがんばる人を取材先として募集し、議員が訪問します。市民の声を届け、より親しみやすい「議会だより」の作成に取り組むとともに、議会活動にもつなげてまいります。

第1回は、「福知山でがんばる成美大学硬式野球部の学生さん」にスポットを当てました。教育のまち、福知山市には、北近畿の未来を創る唯一の大学である成美大学があります。

2000年に開学し、就職率が高く、社会に貢献できる翼を身につけた若き人材を毎年、世に送り出しておられます。

日々切磋琢磨しながら目標に向かって、成長し続けている成美大学硬式野球部の学生さんの目標や率直な福知山市の印象を聞かせていただきました。

成美大学硬式野球部の皆さん（長田野グランド）

今回インタビューに協力してくれた学生さんは、主将の田中息吹（たなかいぶき）貴さん（京都府出身・4回生）と部員の西口稔基（にしぐちとしき）さん（大阪府出身・2回生）、マネージャの権平優樹（ごんだいらゆうき）さん（新潟県出身・2回生）の3人です。いずれも笑顔が素敵なスポーツマンです。

左から、田中さん・西口さん・権平さん

インタビューでは、「秋季リーグ戦は、惜しくも優勝目前にして涙を飲んだ。残り試合、完全燃焼し、必ず上位を目指します。昨年から比べるとチームの雰囲気も上がり、力がついてきた。来季は必ず優勝します」と、力強いコメントで、来季に向けた意気込みが伝わってきました。

また、人間味溢れる小林監督のことを聞いて野球部に入部したことや、野球が大好きなこと、指導者として子どもたちに野球を教えていきたいことなど、野球を通じた夢もたくさん語ってくれました。

選手からの信望が厚い小林監督

福知山市の印象は、住みやすく親切にしてくれる人ばかり。のどかで風情が満喫できる。

また、バスが少ないなど交通の便の問題や、もう少しファッションのお店やショッピングを楽しめる所がたくさんあればいいなど、若者らしい率直な意見もありました。

3人は社会人になっても野球とともに人生を歩みたいとのことです。4年間の大学生活は、人生の大海原に向け、最高の人間性を磨く場であっていただきたいと願うものです。そして、私たち議員も大学生にも住みやすい福知山づくりをめざしていきます。

編集後記

9月の定例市議会が無事に終了いたしました。20名の議員による一般質問と提案された議案に対する説明・質疑・討論・採決が慎重に行われました。また、議会傍聴に来られた多くの市民の方の関心の高さがうかがえました。

議会だより編集委員会は、8月、京都で行われました市町村議会広報研修会に参加して議会だよりのクリニックを受けました。①ありのままの「議事公開」住民とともに歩む広報づくり、政策提案の姿勢があるか②分かりやすい記事と見出し③紙面づくりの技術の3要素にもとづく批評とアドバイスがありました。

議会だより編集委員会は、「議会だよりが変わったな」とさらに興味をもって頂けるように、研究と工夫に努めてまいります。

皆様のご意見をお待ちしております。

（議会だより編集委員会）